

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)

日本共産党西宮市会議員団 (2013. 6. 2 NO. 607)
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

プラごみの中間
処理施設で



市内施設を、バスでウォッチング

5月17日(金)、市議団が企画した市内施設をめぐり学習するバスウォッチングを38名の市民の参加で実施しました。議会棟前に集合し、野口市議より「市教育委員会庁舎敷地を活用する、市の総合防災センター整備の方向が出ています」と説明した後、出発。

火災を出さないための研修から・・・

最初の見学地は池田町の市消防局。2班に分かれて「119」で緊急電話が入ってくる総合指令室の様子や、「火災予防」の講習を受け「放火が一番多いんやね」「火災警器つけなアカンね」との声がありました。



楽しく火災予防の学習

UR借り上げ市営住宅で、「市はひどい、入居継続を」の声。



入居継続運動を進める松田さんの説明に、大きくうなづくみなさん

津門大箇町のUR借り上げ市住では、「継続入居」を求めて運動する松田さんから、経過報告と運動への支援が呼びかけられました。

「高齢者が多いのに、市は冷たいね」「追い出し強行する市の方針変更」と共感しました。

心して
「ゴミ」
を出さないと

プラごみを
手選別で・・・



昨年末に竣工した東部処理センターで、家庭から出される燃やすゴミの収集・搬入・焼却・焼却灰の搬出などの説明と見学。その後、隣接する「その他プラスチック中間処理施設」に移動し、今年2月から収集が始まったプラごみに注目しました。

家庭から透明のビニール袋に入れて出すプラごみは、現場では袋を取り除き、人の手で選別していました。「大変な作業や」「ごみ減量化のためやから、ゴミを出すときにちゃんとしないといけない」と実感しました。

700人待ちの特別養護老人ホームへ

浜甲子園団地の一角に1年前に開設された特養「アリス甲子園」を見学。まず「これ特養?」とびっくり。「ここに入りたい」と聞くと700人待ちとのこと。「もっと特養を整備してよ」と切実な声でした。



潇洒なつくりの「アリス甲子園」

5年ぶりに取り組んだバスウォッチング。一人では見学できない施設など、市議団にとっても参考になりました。見学を受け入れて下さったみなさんのご協力、ご参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。

なぜ西宮市の被災者だけが継続入居できないのか!

外部検討委員会の設置を

「UR借り上げ市営住宅連絡会」は5月22日、入居者や専門家、市民による「外部検討委員会」の設置を求める要望書を西宮市長に提出、市議団からは杉山・佐藤・まつお議員が同席しました。

連絡会の松田代表は、「継続入居を全く認めない市の方針は最低、最悪」と強調。方針の「白紙撤回」を求めました。参加者は「私たちは物ではない」「あと何年も生きられない。最後まで置いてほしい」と訴えましたが、「方針通りに進める」という市のかたくなな態度に、大きな怒りが広がりました。



市へ要望を伝える松田さん